

超緊急帝王切開術のシミュレーションを行いました

平成 30年 12月 27日 3階病棟 松本 楓

入職した4月から瞬く間に時間が過ぎ、今では一人で行うことが出来る看護も増えました。しかし、まだまだ不慣れなこともあり学ぶことも沢山あります。

様々なことを体験する中で、11月19日には超緊急帝王切開術のシミュレーションを行いました。決定から終了まで一連の流れを実際に見学し、連携の大切さと時間との闘いを感じました。産婦人科は特殊な病棟であるため、小さな積み重ねが知識となり自信に繋がります。看護のみならず援助やコミュニケーションの方法を一つ一つ確実に身につけ、今よりもさらに患者を第一に考えた関わりが出来るよう日々精進していこうと思います。



超緊急帝王切開術シミュレーションの一コマです！